

CHAPTER 5

具体的なアクション

持続的にまちを紡ぐために

実現のため今後行っていく具体的なアクション

持続的に豊かで活気あるまちを育むためには、継続的なアクションが行われてゆく必要があります。

そのためには、豊かなまちづくりを続けてゆくための「仕組み」と「仕掛け」が必要です。

- ▶ 「街並み委員会」を継続的に開催し、まちの更新や運営、そして、「まちづくり手帖」の実現を、公(行政)×民(地域)×学(大学・まちづくり会社)の協働で進めてゆく。



街並み委員会ワークショップ

- ▶ 地域の小・中・高校と連携しながら、まちの将来像を考えたり、地域活動に学生に参加してもらったりする仕掛けをする。



くらはく(喜多方市)

- ▶ まちづくり会社や地域団体、若手の団体と連携して、地域活動を支援してもらいながら、指針を実現する仕組みをつくる。



ISHINOMAKI2.0
子供プロジェクト(石巻)

など、多様な活動を継続的に実施してゆくことが大切です。

市役所大通りまちづくり手帖

平成 26 年 1 月 1 日 発行

著者 : 市役所大通り街並み委員会
+ 横浜国立大学都市計画研究室
(野原卓准教授、岸本しおり、植松達哉、釣祐吾、鈴木俊亮)

発行 : コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会
(事務局：株式会社街づくりまんぼう)
〒 986-0822 宮城県石巻市中央二丁目 8 - 2 まちカフェ
TEL : 0225-25-5169 E-mail : ishinomaki.machi@gmail.com

@法令上の例外を除き、本書を無断で複写・複製することを禁じます。

